

広島駅周辺地区の公開空間における社会実験について

広島市、西日本旅客鉄道株式会社、広島電鉄株式会社の 3 者で構成する TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会※¹は、令和 5 年 10 月より広島駅及び駅周辺地区の公開空間において実施している社会実験について、令和 6 年度も継続して実施することをお知らせします。昨年度実施した賑わい・憩い空間の創出に加え、新たに広告事業等も展開してまいります。



1. 令和 6 年度社会実験について

実施期間：令和 6（2024）年 4 月 1 日～令和 7（2025）年 3 月 31 日※²

対象エリア：広島駅北口（新幹線口）ペDESTリアンデッキ及び南北自由通路
（詳細は次頁を確認ください）

実施内容：以下の通り

（1）賑わい・憩い空間の創出

昨年度多くの方にご利用いただいた沿道店舗前のテーブル&チェアや緑に囲まれた大型ベンチ等を引き続き設置するほか、ペDESTリアンデッキ上にワイドベンチやソファを新設し、賑わい・憩い空間の充実を図ります。さらに広島駅周辺地区と連携した様々なイベントの実施により、一層の賑わいを創出していきます。



(2) 新たな事業の展開

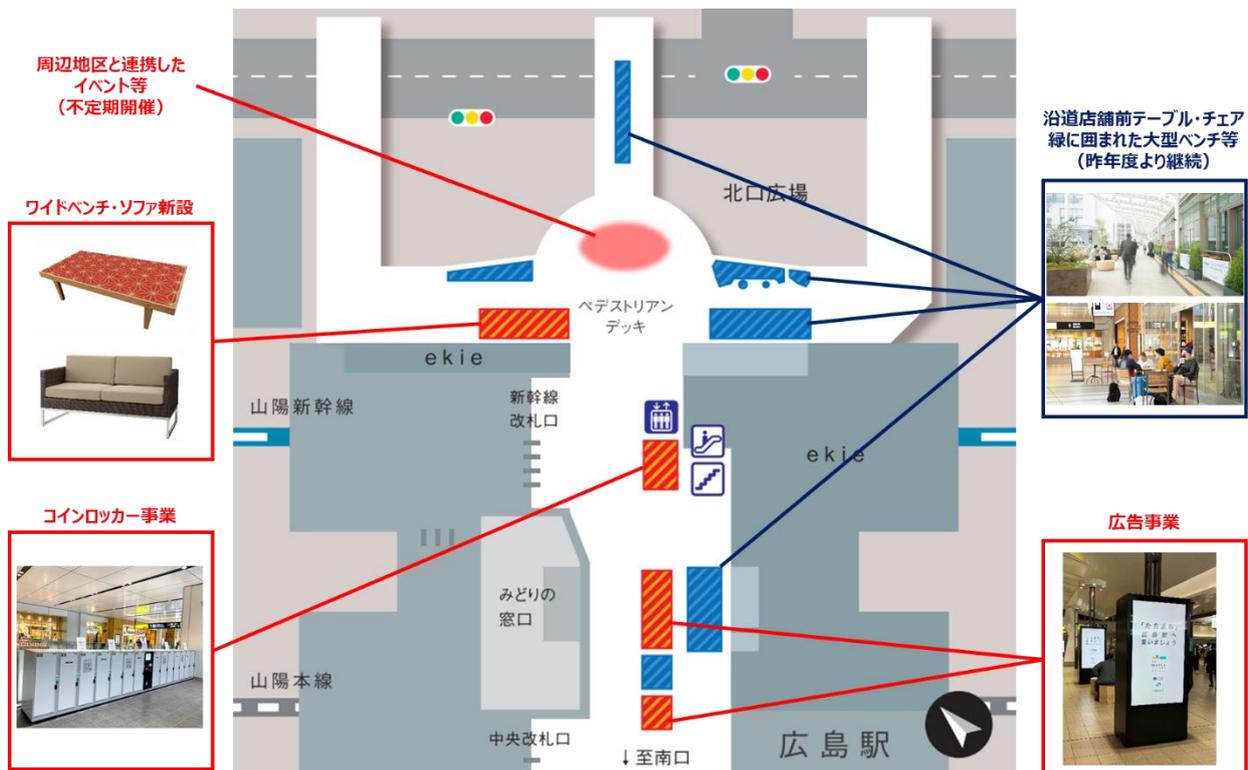
南北自由通路において、広告事業（デジタルサイネージ）及びコインロッカー事業を開始します。広島駅周辺地区の利便性向上を図っていくほか、将来的にはこれらの事業で得た収益を賑わい・憩い空間の維持管理等へ充当することで、持続可能な管理体制の構築を目指します。



(3) 効果検証と将来的な維持管理の仕組みづくり

賑わい・憩い空間の利用状況の把握や利用者アンケート調査の実施等により、社会実験の効果を検証するとともに、将来的な維持管理に必要な設備・財源・ルール等について検討を進めてまいります。

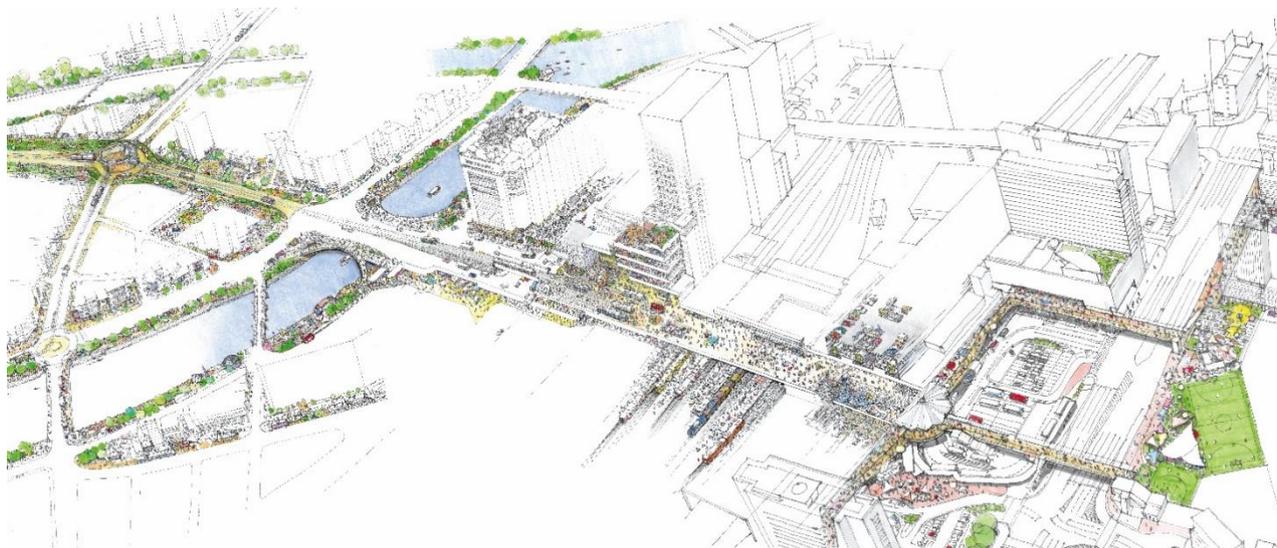
<令和6年度社会実験の対象エリア及び展開事業等>



2. 今後の取組み

広島駅南口広場再整備の完成時期に合わせた新たなルールの運用開始を目指し、公開空間の利活用に関する規制緩和等の新たなルールづくりや、持続可能な管理運営体制の構築に向けた課題を整理し、検証を進めてまいります。

広島駅及び駅周辺地区において、公開空間等の利活用により、公共交通の結節点としてはもちろんのこと、水と緑に囲まれた憩いの場として一層魅力的な空間を目指します。また、こうした取り組みにより、都心の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の回遊性の向上とともに、中四国地方の中核都市としての機能発揮に貢献してまいります。



TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会が目指す広島駅及び駅周辺地区（コンセプトスケッチ）

（参考）昨年度（令和5年度）の社会実験について

実施期間：令和5（2023）年10月21日～令和6（2024）年3月31日

対象エリア：広島駅北口（新幹線口）ペDESTロリアンデッキ及び南北自由通路

実施内容：以下の3つの賑わい・憩い空間を創出し、その効果を検証する。

（1）沿道店舗などからの賑わいのしみ出し

ペDESTロリアンデッキ及び南北自由通路上に、沿道店舗利用客向けのテーブル・チェア等を設置することで、店舗空間を公開空間へ拡張しさらなる賑わいを創出。

（2）ベンチや緑などの高品質な憩い空間

緑に囲まれた大型ベンチや待合い利用に便利なスツール等を、ペDESTロリアンデッキ及び南北自由通路に設置し、高品質な憩い空間を創出。

（3）イベントなどの賑わい創出空間

ライブパフォーマンスやマルシェ、広島駅周辺地区と連携したイベントを開催し、賑わい空間を創出。

詳細は令和5（2023）年10月16日のプレス資料をご確認ください

（URL：https://www.westjr.co.jp/press/article/items/231016_00_hiroshimaeki_koukaikuukan.pdf）

検証結果：利用者アンケート及び定点カメラ映像の分析を行い、滞留人員が増加したことで、利用者の満足度が高いこと等がわかりました。また、実験中の歩行者同士の接触等もなく、通路の安全性についても確認することができました。

※1 TOUCH MATCH HIROSHIMA 実行委員会について

広島市、西日本旅客鉄道株式会社、広島電鉄株式会社の3者が広島駅周辺地区の公開空間等の利活用を推進していく主体組織として令和5年9月に組成しました。

「TOUCH MATCH HIROSHIMA」のロゴ・名称は、広島弁で“とりあえず”を意味する「たちまち」と、新たなモノ・コトに触れる「TOUCH」・人や文化が交わる「MATCH」を掛け合わせ、公開空間の利活用により、駅・まちの賑わいが相互に広がっていくことを想起させるデザイン・フレーズとして策定しました。委員会名にも、これを冠することで「たちまち」行ってみたくなる魅力あふれる広島駅周辺地区を目指す、という思いを表現しました。

※2 令和6年度社会実験の実施期間について

実施期間は変更（短縮）することもあります。また、一部事業については令和5年度より実施しております。